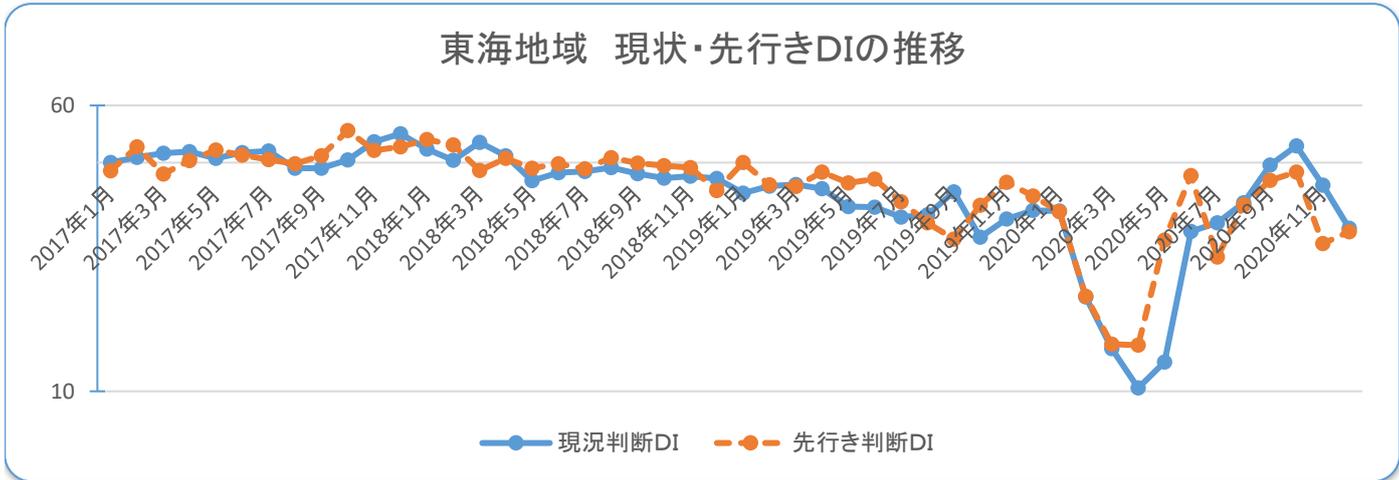


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2020年12月 景気判断理由 一部抜粋

		分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《来客数の動き》	《来客数の動き》 时期的に、年末年始の買物で家族そろっての来店となるため、いつもより購買意欲もそられるのではないかと考える。【スーパー（販売担当）】
		不変	《お客様の様子》	《お客様の様子》 客単価は依然前年を上回っており、来客数は新型コロナウイルス感染の警戒から落ちてはいるものの、売上としては好調を維持している。【スーパー（営業企画）】
		やや悪	《販売量の動き》	《販売量の動き》 新型コロナウイルス第3波の影響を受け、戻りつつあった売上が再度減少に転じている。前年比で8割を下回る店舗が多くなってきている。【コンビニ（企画担当）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》	《受注量や販売量の動き》 新型コロナウイルスの関係で客先業界は全体的に駄目で、設備投資がなく苦しんでいたが、12月だけは年末ということもあり若干受注があった。ただし、増えてもほんの僅かという状態である。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	《受注量や販売量の動き》	《受注量や販売量の動き》 単籠りで個人宛での宅配は増加するものの、製造業を中心に工場の隔週休暇など生産量が減少するなか、荷物の動きが悪い。また、リモートワークの増加で引越しのニーズも減少していると思われる。【輸送業（従業員）】
		やや悪	《取引先の様子》	《取引先の様子》 ただでさえ案件の動きが良くないところに、品薄感を伴うなかで鋼材関連の値上げをのまざるを得なくなってきており、収益環境が悪くなってきている。【金属製品製造業（従業員）】
	雇用 関連	やや悪	《周辺企業の様子》	《周辺企業の様子》 主要客の自動車メーカーとの請負取引は、予算削減の動きが継続しているが、一部の部署では4月以降の人手不足を見越した派遣取引の新規引き合いが発生しており、3か月前よりは景気が上向きに感じられる。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	《求職者数の動き》	《求職者数の動き》 転職希望者の動向でみると、引き続き様子見の人は非常に多く、情報収集をしたいと考えている人が継続的に多い状況である。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		やや悪	《周辺企業の様子》	《周辺企業の様子》 Go To Travelキャンペーン等関係イベントの停止と新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業時間短縮による売上の減少が休業につながり、雇用調整助成金の活用を増加させる可能性がある。【職業安定所（職員）】
先行き	家計 動向 関連	やや良		自動車の減税が延長になったこともあり、決算時期に重なっていくので、期待したい。【乗用車販売店（従業員）】
		不変		12月に2年前から予定していた2号店をオープンした。客層は20代が多く消費を支えてくれている。既存店は余り売上の落ち込みもなく営業しているが、政府の緊急事態宣言がまた出されたら、売上は落ち込むと思う。【一般レストラン（経営者）】
		やや悪		新型コロナウイルスの第3波の影響次第だが、感染リスクが従業員の身の回りにどんどん迫ってきているので、人手不足で店舗の営業停止に追い込まれることを一番恐れている。【スーパー（ブロック長）】
	企業 動向 関連	やや良		農機具関連は増加傾向、オートバイ関連は減少傾向、液晶関連は増加傾向で、トータルでは前年比90%程度である。【輸送用機械器具製造業（経営者）】
		不変		雇用調整助成金の受給日数が減ってきているとはいえ、休業は続いている。飲食店も、売上が上がらないので時短要請に応じて補助金をもらおうとしている。【会計事務所（職員）】
		やや悪		営業時間規制の強化が予想されており、飲食店に対する不安が影響を及ぼしているという経営者が多いため、将来的な景気にも余り期待できない。【金融業（従業員）】
	雇用 関連	やや良		企業側が新型コロナウイルス禍での採用フローの在り方などを変化させている状況であり、かつ、4月入社を目指して活動する人も引き続き多くなっていくものと想定する。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変		自動車関連の受注が戻りつつあるという声も聞くが、製造業も含めて新規求人数は減少が続いており、先行きが見通せない。【職業安定所（所長）】
		やや悪		今後も新型コロナウイルス感染拡大の懸念がある。このまま感染者数が増加し続けると、特に飲食店の閉店が懸念され、そうなると離職者の増加が考えられることから、景気はやや悪くなると判断した。【職業安定所（次長）】